

きつつきの商売

林原 玉枝 作・村上 康成 絵

読む力

- ①場面のようなすを思いうかべながら（そうぞうしながら）、音読する力。
- ②文しよを讀んで（そうぞうする）力。

その

【めあて】「

こうしよう。

No.②のプリ

がよりふ

見つける

場面の

答え

「たいせつ」

②

「きもち」

「は」

「かなしい」「かなしい」などきもちが分かることばだよ。

「……が」言ったこと（会話文）「……のことだよ」



では、じっさいに「行動」や「きもち」のことばをさがして、場面のようなすやきもちをそうぞうしていきましよう。

◎下の本文の中で、あてはまることばや文に、それぞれ色の線(サイドライン)をひきます。

①きつつきの行動(きつつきがしたこと・言ったこと)↓みどり色

②野うさぎの行動(野うさぎがしたこと・言ったこと)↓赤色

③まわり(ぶなの森など)のようすがあらわれていることばや文↓青色

*聞こえる音も「まわりのようす」だよ。



【1】場面とちゅうから】

きつつきは、野うさぎをつれて、ぶなの森にやって来ました。

それから、野うさぎを、大きなぶなの木の下に立たせると、自分は、木のとっぺん近くのみきに止まりました。

「さあ、いきますよ、いいですか。」

きつつきは、木の上から声をかけました。野うさぎは、きつつきを見上げて、こっくりうなずきました。

「では。」

きつつきは、ぶなの木のみきを、

くちばしでカいっばいたたきました。

コーン。

ぶなの木の音が、ぶなの森にこだましました。

野うさぎは、きつつきを見上げたまま、だまって聞いていました。

きつつきも、うっとり聞いていました。

四分音符分よりも、うんと長い時間がすぎてゆきました。

◎「1」場面の行動やようすから、あなたは、どんなことをそうぞうしましたか。音を

聞かせた「きつつき」と、音をきいた「野うさぎ」はどんな気もちになったでしょう。ふき

出しにそれぞれの気もちを書きましょう。

【ここは、先生が丸をつけます。】

